

お弁当について（年少）

下記の要領でお弁当を開始いたします。お弁当は、友達と一緒に楽しい雰囲気の中で食べることで、生活習慣を身に着けたり偏食を解消したりすることになります。栄養のバランスを考えた愛情ある手作りのものを心がけ、楽しいお弁当になるようにご協力くださいますようお願いいたします。

- 1 ねらい
 - ・先生や友達と一緒に食べる喜びを味わう。
 - ・自分で準備・片付けをして、食事の正しい習慣を身につける。
 - ・いろいろな食べ物に関心をもつ。

- 2 お弁当のある日 原則として 月・火・水・木・金曜日の毎日
学期始めと学期終わりは、お弁当がありません。

- 3 用意するもの
 - (1) お弁当箱
 - ・お弁当箱は、お子さんが自分でふたの開け閉めができる、使いやすいものにしてください。
 - (2) はし
 - ・はし箱に入れてください。お箸が使えるようになるまでは、お子さんが食べやすいように、スプーンやフォークでも結構です。はし・スプーン・フォークの3本セットの場合は、使うものだけ入れてください。
 - (3) コップ
 - ・お弁当の時に、麦茶を出します。それ以外にも、うがいや水を飲む時などに使用します。プラスチック製のもので、持ち手のあるものにしてください。
(お弁当のない日も毎日、園に持って来ます)
 - ・コップ袋は、布製で、お子さんが一人で出し入れできるように、やや大きめのマジックテープ式のものにして、カバンの中に直に入れてください。
 - (4) ランチマット
 - ・食事の時、お弁当箱の下に敷きます。
 - (5) おしぼり
 - ・食事中、口や手をふく時に使います。薄手の小さいタオルをビニール袋などに入れてください。
 - ・おしぼりを入れる袋等にも、名前を書いてください。
 - (6) お弁当袋
 - ・お弁当袋に以上のものを入れます。

- 4 お願い
 - (1) 上記の持ち物については、はっきり記名し、カバンに入れてください。
 - (2) 残さない習慣をつけるため、しっかり食べきれよう初めは量を控えめにしてください。
 - (3) 食べやすいように、初めは小さめのおにぎりにするなどして、ご配慮ください。
 - (4) デザートを入れる場合は食後の一口程度にし、お弁当と一緒に入れてください。
 - (5) 季節により（梅雨時など）、食中毒に十分配慮してください。